

バスケットボールにおけるディフェンス場面での 状況判断テスト作成の試み

田中 大雅 (島根大学)

1. 目的

本研究の目的は、ゴール型球技のバスケットボールにおけるディフェンス場面での状況判断テストを作成することである。

2. 研究方法

1) 対象者

予備テストの対象者は、S大学の大学生10名（バスケットボール経験者5名、ゴール型球技未経験者5名）である。本テストの対象者は、S大学の大学生と大学院生（18～24歳）、48名（ゴール型球技経験者25名、ゴール型球技未経験者23名）である。

2) 調査方法

まず、評価対象となるディフェンスの原則について確定した。それをもとに10問の予備テストを作成し、回答状況について検討した後、24問で構成される「バスケットボールにおけるディフェンス場面での状況判断テスト」（本テスト）を作成した。この本テストの回答状況から、本テストの有効性について検討を行なった。

3) 分析方法

予備テスト、本テストともに、経験者と未経験者の採点結果をt検定で比較し、考察を行った。t検定には、Excel 2016を使用した。

3. 結果と考察

1) 本テストの結果

総得点の正答率は、経験者71.5%、未経験者55.4%であった。t検定の結果、経験者が未経験者より有意に高い値を示した ($p < .01$)。

表1に示すように、全24問中8問において経験者が競技未経験者より有意に高い得点を示した。しかし、それ以外の問題については、有意な差はみられなかった。

2) 本テストの考察

有意な差がみられた問題の8問中6問の結果から、

表1 本テストの各問題の正答人数と正答

プレー人数	問題番号	プレー選択	大学生経験者 n=25		大学生未経験者 n=23		t値
			正答人数(名)	正答率(%)	正答人数(名)	正答率(%)	
1対1	3	②	17	68.0	11	47.8	1.412
1対1	10	①	22	88.0	18	78.2	0.884
1対1	12	②	17	68.0	12	52.2	1.108
2対2	1	④	17	68.0	6	26.1	3.139**
2対2	2	②	17	68.0	15	65.2	0.200
2対2	4	③	9	36.0	11	47.8	-0.817
2対2	6	④	23	92.0	14	60.9	2.641*
2対2	7	④	9	36.0	3	13.0	1.890
2対2	9	②	17	68.0	13	54.2	0.807
2対2	11	③	23	92.0	19	82.6	0.959
2対2	13	①	22	88.0	17	73.9	1.228
2対2	15	④	17	68.0	2	8.7	5.267***
2対2	18	③	19	76.0	21	91.3	-1.446
2対2	19	④	24	96.0	17	73.9	2.170*
2対2	23	②	17	68.0	9	39.1	2.047*
3対3	5	①	22	88.0	13	56.5	2.523*
3対3	8	④	17	68.0	7	30.4	2.748**
3対3	14	④	21	84.0	15	65.2	1.490
3対3	16	③	10	40.0	12	52.2	-0.833
3対3	17	④	19	76.0	12	52.2	1.731
3対3	20	③	14	56.0	17	73.9	-1.298
3対3	21	④	14	56.0	13	56.5	-0.036
3対3	22	④	19	76.0	15	65.2	0.806
3対3	24	④	23	92.0	14	60.9	2.641*

* : $p < 0.05$ ** : $p < 0.01$ *** : $p < 0.001$

経験者に比べて、未経験者は、マークする相手がボールを持っていない状況下において、味方のカバーにいくという意識が低いと考えられる。このことから、未経験者は自分のマークする相手だけを守るという意識が強く、学校における体育授業でディフェンス時の空間利用（空間をカバーすること）が十分に学習できていないことが考えられる。

4. 結論

本研究では、バスケットボールのディフェンス場面を例に、プレーヤーの視線に近い映像から状況判断能力を評価できるテスト作成を試みた。その結果、経験者ならびに競技未経験者ともに高い正答率を保障できるテストを作成することができた。経験者と未経験者との間で、有意な差がみられたことから、今回作成したテストは、ゴール型球技の知識を評価するのに有効な手段であることがわかった。

今回の研究から、体育授業でゴール型球技を取り扱う際には、オフェンス時だけでなく、ディフェンス時の空間利用（空間をカバーすること）を生徒が学習できるような工夫が必要であるとの示唆が得られた。